

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公表番号】特表2009-538754(P2009-538754A)

【公表日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2009-513172(P2009-513172)

【国際特許分類】

| | | |
|----------------|-------|-----------|
| <i>B 4 1 J</i> | 2/01 | (2006.01) |
| <i>C 0 9 D</i> | 11/00 | (2006.01) |
| <i>B 4 1 M</i> | 5/00 | (2006.01) |
| <i>B 4 1 M</i> | 5/50 | (2006.01) |
| <i>B 4 1 M</i> | 5/52 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|----------------|-------|---------|
| <i>B 4 1 J</i> | 3/04 | 1 0 1 Z |
| <i>C 0 9 D</i> | 11/00 | |
| <i>B 4 1 M</i> | 5/00 | A |
| <i>B 4 1 M</i> | 5/00 | B |
| <i>B 4 1 M</i> | 5/00 | E |

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月11日(2010.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷装置であつて、

外側表面と、該外側表面にわたって位置決めされる実質的に同等の寸法を有する一連のセルとを有する、イメージング部材と、

マーキング粒子及び液体を有するインクの液滴を所望の像様インクパターンにおいて前記イメージング部材の前記セルへと選択的に放出する、インクジェットデバイスと、

前記インクジェットデバイスが前記セルへと前記液滴を放出した後に、前記イメージング部材の前記セルを誘電性流体で充填する機構と、

前記インクにおける前記マーキング粒子を前記液体から分別し且つ前記像様マーキング粒子パターンをレシーバ部材に対して転写するデバイスを有する、転写機構と、

を有する印刷装置。

【請求項2】

前記インクジェットデバイスから放出される前記インクのマーキング粒子は、帯電される、

請求項1記載の印刷装置。

【請求項3】

前記転写機構は、前記インクの分別を促進させる電気バイアスデバイスを有する、

請求項2記載の印刷装置。

【請求項4】

前記イメージング部材は、密接してつめられた構造において該ローラーの円周表面全体に実質的にわたって位置決めされる前記セルを有するローラーである、

請求項 1 記載の印刷装置。

【請求項 5】

印刷の方法であって、

マーキング粒子及び液体を有するインク液滴をテクスチャ加工されたイメージング部材のセルへと噴出させる段階と、

該セルを誘電性流体で充填する段階と、

マーキング粒子を液体から分離させるよう前記テクスチャ加工されたイメージング部材の前記セルにおける前記インクを分別する段階と、

前記マーキング粒子を前記テクスチャ加工されたイメージング部材上の前記分別されたインクからレシーバまで転写する段階と、

前記テクスチャ加工されたイメージング部材から残留した余分な液体を取り除く段階と、

、
を有する方法。

【請求項 6】

前記インクは、像様に前記セルへと噴出される、

請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

電気バイアスは、前記セルにおいて前記インクを分別する段階を促進させるよう適用される、

請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】

マーキング粒子は、まずテクスチャ加工されたイメージング部材から中間部材まで転写され、その後に該中間部材からレシーバ部材まで転写される、

請求項 5 記載の方法。